



およその大きさ 100×60×45cm

形の特ちょう (ニックネーム)

乱れた縞模様の岩体

色の特ちょう

- ・白と深緑色の縞模様 (白が卓越)
- ただし縞模様は乱れている

表面の特ちょう

- ・乱れた縞模様



側面の特ちょう

- ・縞模様は激しく乱れているがその境界 (片理) ははっきりしている

含まれているもの

- ・白い部分はカッターナイフ (硬度 6) で傷つかない。硬度 7 の石英の集合体といえる

その他の特ちょう

- ・片理が明瞭 → 結晶片岩の構造

* **片理**とは、柱状や針状や板状の結晶が一定方向に並んでできる構造

メモ

【観察メモ】

* 片理があればもともとの岩石が高い圧力や温度にさらされて再結晶が起こった、つまり変成作用を受けた、と判断される

* **変成作用**とは、地下深部の高圧高温の下で岩石の組織や構造が変わり、時には新たな鉱物ができること。変化の大部分は固体の状態で起こる

岩石名 結晶片岩(石英片岩または砂質片岩：広域変成岩)